RICOH-RTR SYH

NO. 0382

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number:

62-223679

(43)Date of publication of application: 01.10.1987

(51)Int.Cl.

GO1R 31/28

(21)Application number: 61-066812

(71)Applicant : NEC CORP

(22)Date of filing:

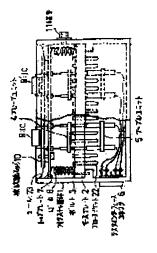
25.03.1986

(72)Inventor: YOKOTA NORIO

(54) FIXTURE FOR IN-CIRCUIT TESTER

PURPOSE: To test various packages by one fixture by embedding probe sockets in the entire surface of a base plate and using a probe socket and a cable unit corresponding to each shape of a component,

CONSTITUTION: The base plate 2 is constituted by embedding probe sockets 22 in the entire surface of an insulation substrate at the same pitch with the stendard grating of a package printed board to be tested, and fixed to a fixture housing 1 with a bolt 3. A probe unit 4, on the other hand, is inserted into an optional position on the top surface of the plate 2; and one end of a cable unit 5 is inserted into an optional position on the reverse surface of the plate 2 and the other end is inserted into an optional pin of a tester interface connector 6 fitted to the housing 11. A top plate 7 is holed over the plate 2 by springs 8 and a package 10 to be tested is tested on the plate 7. Consequently, fixtures need not be manufactured individually and pin positions are easily changed, so this fixture is usable for the test of an experimental package.



⑲ 日本国特許庁(JP) ⑪ 特許出願公開

⑫ 公 開 特 許 公 報 (A)

昭62 - 223679

@int_Cl_4

識別記号

庁内整理番号

❸公開 昭和62年(1987)10月1日

G 01 R 31/28

N - 7807 - 2G

審査請求 未請求 発明の数 1 (全4頁)

の発明の名称

インサーキツトテスタ用フイクステヤ

②特 関 昭61-66812

22出 顧 昭61(1986)3月25日

位発 明 者

紀 男

東京都港区芝 5 丁目 33番 1 号 日本電気株式会社内

日本電気株式会社 東京都港区芝5丁目33番1号 の出願人

砂代 理 人 弁理士 熊谷 雄太郎

1. 発明の名称

インサーキットテスタ用フィクスチャ

2.特許請求の範囲

被試験パッケージアリント基板の標準格子と問 ーピッチで全面にプローブピンソケットが埋め込 生れたベースプレートと、 部品毎に一体化され前 記ペースプレート上部の任意の位置に差し込むと とができるプローブユニットと、このブローブユ ユットと同様に親ソケットが一体化され前型ペー スプレート下部の任意の位置に差し込むことがで きるケーブルユニットとを有することを特徴とし たインサーキットテスタ用フィクスチャ。

3. 発明の評細な説明

産業上の利用分野

本差明は、インサーキットテスタ用フィクスチ ャに関し、特に、1台で複数のパッケージの試験 に使用できる汎用フィクスチャに関する。

供来の技術

後来、この彼のワイクスチャは、被試験パッケー

ージの半田国から実装部品の足とかスルーホール にアローブピンによりコンタクトする検山状のフ ィクスチャであり、被試験パッケージの部品実施 位置に合わせてプローブピンを立てパッケージの 種類毎に作成されていた。

発明が解決しようとする問題点

しかしながら、上述した従来のフイクスチャは 被試験パッケージの種類毎に作成しなければなら ないので、多数のフィクスチャが必要となり、か つその作成費用も膨大となるという欠点がある。

また、高精度なKCマシンを使って作業するため に、作成期間が長く改造も困難であるので、試作 パッケージの試験には不向きである。

本発明は従来の上記事情に垂みてなされたもの であり、従って本発明の質的は、従来の技術に内 在する上記器欠点を解清することを可能とした新 風なインサキットテスタ用フィクスチャを 提供す ることにある。

問題点を解決するための手段

上記目的を達成する為に、本発明に係るインサ

特層昭62-223679 (2)

ーキットテスタ用フィクスチャは、プリント基板 の複雑格子と同一ピッチでプローブソケットが埋 め込まれたベースプレートと、部品毎に一体化さ れたプロープユニットと、アローブソケットとテ スタインターフェース用コネクタとを提載するケ ープルユニットとを其備して構成される。

字 耸 州

次に本発明をその好ましい一実施例について関 面を参照して具体的に説明する.

第1回は本発明の一実施例を示す平面図であり 第2回は部分的に新聞で示した正面図である。 第 1 図及び第2 図を参照するに、参照番号 1 はフィ クスチャは体、2はベースアレートをそれぞれ示 し、ベースプレート2はフィクスチャ筐休1にポ ルト3で固定されているが、ポルト3を取りはず すことにより分離できる精造となっている。プロ ープピンユユット4はベースプレート2上面の任 翠の位置に差し込むことができる。ケーブルユニ ァトラは一場をベースアレート2下面の任意の位 誰に、もう一端は筐休1に取り付けられたテスタ

2に接続される部分の平面関であり、第8因はそ の正面図である。この部分は、絶雑芸女51にアロ - ブピンユニット 4 の プローブピン 42と同じ位置 に頼ソケット52が埋め込んで構成されている。親 ソケット 52はベースアレート 2 のアローブソケッ ト 22を集し込むことができる様に形成され、その 反対個はラッピング、はんだ付け、圧着などによ りリード娘を挨続できる機になっている。

第9日はケーブルユニット5のテスタインター フェースコネクタ6に接続される部分の平面因で あり、第10回はその平置因である。この部分は、 絶録差載53にテスタインターフェースコネクタ 6 の増子間隔に合わせてソケットピン54が埋め込ん で構成される。ソケットピン54にはテスタイング ーフェースコネクタ6の帽子が差し込むことがで きる様に形成され、その反対側はラッピング、は んだ付け、圧者などによりリード様を挨続できる 様になっている。

常り図はケーブルスニットラの正置図である。 ケーブルユニット5は、第7四、第8団に示した インターフェースコネクタ6の任意のピンに差し 込むことができる。トッププレート7はばね8に よりベースプレート2の上部に浮いた状態に保持 されている。ic9,9'を搭載した被試験パッケ ージ | 9はトッププレート7の上にのせられて試験 される、佐体1の層面には真空ポンプを接続する ための椎手11が取り付けられており、その椎手11 の孔に合わせて理体1にも孔があけられている。

第3回はベースアレート2の平面図であり、第 4回は部分的に厳留で示した正面図である。ベー スプレート 2.は、絶縁蓋板 21に被試験パッケージ プリント基板の標準格子と同一ピッチで全面にプ ローブソケット 22が埋め込まれて構成されている 第5個はアローブピンユニット4の一例を示す 平面図であり、常6図はその正面図である。プロ ープピンユニット4は、絶縁当気41に彼試験パッ ケージに搭載される部品(第5回、第6回の場合 には117 タイプ (C) のリード場子位置に合わせて プローブピン 42を 戻め 込んで 構成されている。

第7因はケープレユニット 5 のベースプレート

部分の親コネクタ 52と 第9図、第10回に示した部 分のソケットピン54とをリード報55で1対1に横 綻して構成される。

第12回はトッププレート7の平面回であり、第 13図はその正確図である。トッププレート7は、 絶縁基領71に被試験パッケージプリント募板の様 準格子と同一ピッチでアローブピン 42の上部の外 怪より大きい孔 72があけられており、その糖糖は 被試験パッケージ18の部品実装領域と同じにされ ている。更に絶縁基板11には被試験パッケージ [4 の位置決めピン74が取り付けられており、またエ アもれを防ぐために、絶縁基板71より一回り大き くかつ被試験パッケージ10の外形より一回り小さ な孔をあけられたスポンジ状のシール13が貼り付 けられている.

次にこのフィクスチャの使い方を栽明する。ま ず被試験パッケージ 18に実装されている部品(第 1間、第2間の場合にはJC9 , 9 °)に対応した プローブアダプタ4をその実装位置に合わせてべ ースアレート2のアローブソケット 22に差し込む

独原昭62-223679 (3)

第14回は本発明に係るケーブルユニットの他の 実施例を示す正衡回である。ケーブルユニットの のテスタインターフェースコネクタ関はユニット 化せずリード線 1 本毎にソケットピンが接続され ている。このケーブルユニットを使用すると試験 に必要なピンだけをテスタインターフェースコネ

したプローブピンスニットの 正面図 、第 7 図はは 年 7 図 で 7 の で 8 図 で 8 第 12 図 は 7 の で 7 で 7 で 7 で 7 で 8 の で 7 で 8 図 で 8 で 7 で 7 で 7 で 8 の で 7 で 8 の で 7 で 8 の で 7 で 8 の で 7 で 8 の で 7 で 8 の で 7 で 8 の で 7 で 8 の で 7 で 8 の

1 …フィクスチャ筐体、 2 …ベースアレート、 3 … ポルト、 4 … アローブユニット . 5 … ケーブルユニット . 6 … テスタインターフェースコネクタ、 7 … トップアレート . 8 … ばね、 9 、 9 ' … ic、 10 … 被試験パッケージ、 11 … 維手、 21 … 他操 拡板、 22 … アローブソケット、 41 … 他辞基板、 42 … アローブピン、 51 … 他辞基板、 52 … 根ソケット 53 … 他禄基板、 52 … 1 、73 … シール、 55 … リード 線 71 … 絶縁基板、 72 … 孔 . 73 … シール、 74 … ガイドピン

クタ6のピンに整し込むことができるので、イン サーキットテスタの試験回路が少なくで済む。

また、本党明は真空ボンプを使わない機械式フィクスチャにも同様に使用可能である。

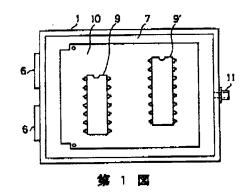
発明の効果

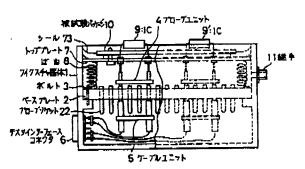
以上説明したように、本発明によれば、ベース アレート会面にプローブソケットを限め込み、部品の形状毎のプローブユニットとケーブルユニット トを使用することにより、部品実業位置の異なる 各種パッケージを1台のフィクスチャで試験できる効果が得られる。

また、雇別にフィクスチャを作る必要がなく、 ピン位置の変更も容易なために、試作パッケージ の試験にも使用できる。

4 、 図面の簡単な説明

第1個は本発明の一実施例を示す平面図、第2 図は第1個に示した一実施例の一部新面面の図、 第3回はベースアレートの平面図、第4回は第3 図に示したベースアレートの正面図、第5回はア ロブビンスニットの平面図、第6頃は第5回に示





第 2 图

特蘭昭62~223679 (4)

